



< 第 5 期 >

中間報告書

平成23年4月1日～平成23年9月30日



特種東海製紙株式会社

TOKUSHU TOKAI PAPER CO.,LTD.

証券コード 3708



株主の皆様におかれましては、平素より当社グループに対しまして格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社第5期中間報告書（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）をお手許にお届け申し上げます。

平成23年3月期をもちまして第1次中期経営計画が終了し、本年度より「深化。そして、進化。」をテーマとした第2次中期経営計画を推進しています。深化は基盤事業の徹底的な強化、進化は成長路線に向けた新たな変化を掲げ、段ボール原紙、クラフト紙を主軸とした「産業素材事業グループ」、ファンシーペーパー、高級印刷用紙、機能紙の「特殊素材事業グループ」、ペーパータオル、トイレットペーパーを中心に新規事業としてウォーター事業を加えた「生活商品事業グループ」の3事業グループ体制の下、「ユニークで存在感のある企業集団として社会と環境に貢献する」を経営理念に新事業計画の達成に向け邁進して参る所存ですので、何卒、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 三澤 清利

「深化。そして、進化。」

第2次中期経営計画のスタート

三澤社長に、第2四半期決算の内容や通期の見通し、第2次中期経営計画の内容について聞きました。

Q

第2四半期の業績および通期の業績見通しについてお聞かせください。

A

当第2四半期の当社グループは、当連結会計年度よりスタートした第2次中期経営計画に基づく諸施策を推進しました。

産業素材事業では、震災の影響はあったものの、主力製品である段ボール原紙は、飲料関連の需要が堅調に推移し、前年同期並みの販売数量を確保しました。クラフト紙についても、米麦向け需要が堅調に推移したことから、販売数量が前年同期を上回りました。

なお、原材料価格の上昇等を受け、更なる生産効率の改善などに努めるとともに、段ボール原紙・クラフト紙につきまして下期より価格修正に取り組んで参ります。

特殊素材事業では、機能紙については、夏場の電力使用制限による需要の落ち込みは軽微で、販売数量・金額ともに前年同期を若干上回りました。一方、特殊印刷用紙については、主力製品であるファンシーペーパーが依然として採用手控えの動きがあり減少したものの、高級印刷用紙については、震災後の自粛ムードが緩和されつつあり、販売数量・金額ともに回復傾向にあります。

生活商品事業では、主力製品であるペーパータオル、トイレットペーパーとともに、震災の影響等により、販売数量は前年同期を下回りました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は38,782百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益は1,729百万円（前年同期比28.0%減）、経常利益は1,735百万円（前年同期比25.8%減）、四半期純利益は498百万円（前年同期比18.9%増）となりました。

通期における業績見通しは、引続き先行き不透明な状況ではありますが、生産効率の改善や経費の削減により売上高80,000百万円、営業利益3,100百万円、経常利益3,000百万円、当期純利益1,400百万円を見込んでおります。

Q 第2次中期経営計画の内容と今後の展望についてお聞かせください。

A 平成23年度から平成25年度の3年間を対象とした「第2次中期経営計画」を策定いたしました。
「ユニークで存在感のある企業集団として社会と環境に貢献する」を経営理念に掲げ、長期目標として売上高1,000億円、経常利益50億円、利益率5%を目指し、基盤事業の徹底的な強化（深化）と成長路線に向けた新たな変化（進化）を通じて、混迷・大競争の時代を勝ち抜く企業基礎力の強化を図ります。

深化（基盤強化施策）としては販売力の強化、製造力の強化、事業設計の見直し、進化（成長戦略）としては新製品の開発と販売、他社・他産業との部分的連携、海外展開、環境事業の推進を図ります。これらのため当社の高い資金調達余力を活用し、積極的に戦略投資を実施いたします。

中期経営計画の実行により中計最終年度には売上高900億円、経常利益45億円、利益率5%を達成すべく邁進して参ります。
また、資本効率の向上および今後の経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を図るため、平成23年11月10日に、16,000千株、32億円を上限とする自己株式の取得を決定いたしました。

第2次中期経営計画（平成24年3月期～平成26年3月期）

「深化。そして、進化。」

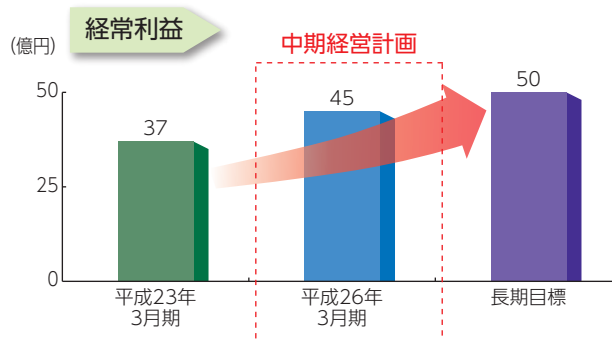
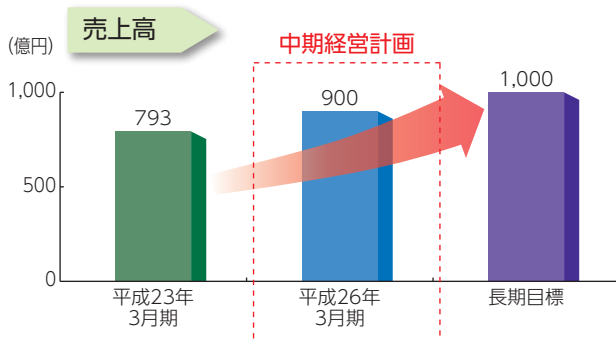
深化（基盤強化施策）

- 販売力の強化**
 - ・代理店、段ボール加工メーカー等の取引関係強化に注力。
 - ・主力製品の品質優位性の維持、確保。
 - ・業務用トイレットペーパーの拡販。
 - ・タオルペーパーのチャネル再構築。
- 製造力の強化**
 - ・島田工場における原材料およびエネルギーの最適化実現。
 - ・多様な顧客ニーズに対応するため、柔軟な生産体制の再構築。
 - ・設備強化によるコストダウンの追求。
- 事業設計の見直し**
 - ・クラフト紙の採算性改善。
 - ・タオル事業のグループ内生産品目および生産体制の見直し。
 - ・加工工場のS&Bによる薄物ラミネート事業の強化。

進化（成長戦略）

- 新製品の開発と販売**
 - ・情報ソースの窓口拡大。
 - ・既に存在している市場に開発製品で新規参入。
 - ・新規コア技術の探索。
- 他社・他産業との部分的提携**
 - ・現在の販売量を維持、拡大。
 - ・提携先との相互の事業効率向上。
 - ・ファンシーペーパーの収益基盤安定化。
- 海外展開（特殊素材事業グループ）**
 - ・良質な販売ルートの獲得。
 - ・海外生産体制の構築。
- 環境事業の推進**
 - ・自社資源の有効活用による新事業立上げ。

『売上高900億円 経常利益45億円 経常利益率5%』の達成





Point

総資産 : 122,753百万円
負債 : 63,100百万円
純資産 : 59,653百万円
自己資本比率 : 48.4%

前連結会計年度末に比べて4,878百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金の減少によるものであります。
 前連結会計年度末に比べて4,902百万円の減少となりました。主な要因は、借入金の減少によるものであります。
 前連結会計年度末に比べて23百万円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。
 前連結会計年度末に比べて1.9ポイント上昇しました。

(注) 通期予想につきましては、今後の様々な要因により予想と異なる可能性がありますので、ご了承ください。

連結財務諸表

第2四半期連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)

科目	当第2四半期 (平成23年9月30日現在)	前期末 (平成23年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	42,356	44,751
固定資産	80,397	82,880
有形固定資産	66,349	68,124
無形固定資産	1,185	1,043
投資その他の資産	12,862	13,712
資産合計	122,753	127,632
(負債の部)		
流動負債	42,301	45,491
固定負債	20,798	22,510
負債合計	63,100	68,002
(純資産の部)		
資本金	11,485	11,485
資本剰余金	14,452	14,463
利益剰余金	34,525	34,425
自己株式	△ 1,065	△ 1,094
その他の包括利益累計額	23	110
新株予約権	76	70
少数株主持分	155	169
純資産合計	59,653	59,629
負債純資産合計	122,753	127,632

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第2四半期連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	当第2四半期(累計) (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
売上高	38,782	40,296
売上原価	31,268	31,797
売上総利益	7,513	8,498
販売費及び一般管理費	5,784	6,098
営業利益	1,729	2,400
営業外収益	351	340
営業外費用	344	402
経常利益	1,735	2,338
特別利益	3	20
特別損失	704	1,061
税金等調整前四半期純利益	1,034	1,296
法人税、住民税及び事業税	463	517
法人税等調整額	83	351
法人税等合計	547	868
少数株主損益調整前四半期純利益	487	428
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 11	8
四半期純利益	498	419

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第2四半期連結包括利益計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	当第2四半期(累計) (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
少数株主損益調整前四半期純利益	487	428
その他の包括利益	△ 86	△ 752
四半期包括利益	400	△ 324

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

配当に関する事項

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	配当の原資	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成23年11月10日 取締役会	普通株式	398	資本剰余金	2.5	平成23年9月30日	平成23年12月9日

●台湾企業との戦略的提携の検討開始

国内市場の成長鈍化による新たな成長戦略の一環として台湾の特殊紙メーカー中日特種紙との業務提携の検討に着手し、本年6月13日に業務提携を目指した検討を開始する覚書に調印しました。当社の培ってきた技術と中日特種紙のアジア市場における事業経験とのシナジー効果により、躍進するアジア市場での販路拡大と生産体制の確立を確保すべく戦略的提携を目指して参ります。



調印式の模様

締結先 中日特種紙廠股份有限公司 (Chung Rhy Specialty Paper Mfg. Co., Ltd)
 代表者 陳 濤聲
 住 所 南投縣埔里鎮中山路三段737號
 業 容 ファンシーペーパーおよび各種機能紙の生産販売

●省エネと環境推進の取り組み

経済産業省からの電力削減目標である15%削減を達成するべく全社一丸となった節電対応により、各拠点ともに今夏20%から30%の電力削減を達成いたしました。節電対策としてはエアコンの温度調整やファームの長期化、減灯、昼休みの消灯に加え、三島工場では水が豊富な土地柄を生かした井戸水を使用した冷房システムを採用したことも目標達成の大きな効果となりました。

また、来年度完成予定として現在建設中の新バイオマスボイラーの稼働により、エネルギーコストの低減とCO₂排出量の削減により更なる環境対応の推進を図って参ります。



井戸水冷房ユニット

●第21回紙わざ大賞入賞作品展 開催

十字屋ホール（東京・銀座）にて9月15日から9月17日まで、「第21回紙わざ大賞入賞作品展」を開催いたしました。本年より当社が主催し、393件の応募の中から選ばれた優秀作品を展示し、3日間で1,600名を超える来場者数となりました。「紙わざ大賞」を通じて紙の魅力や無限の可能性をより多くの方々感じていただけるような提案をして参ります。



入賞作品展の模様



大賞「黙する言語（時の形象）」

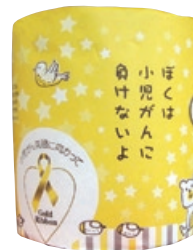
●ゴールドリボン・ネットワーク活動

当社および関係会社の明治製紙（株）では、小児がんの子どもたちが安心して、笑顔で生活できる社会の創造に役立っていききたいという想いで誕生したゴールドリボン・ネットワークの趣旨に賛同し「ゴールドリボン・ネットワーク活動」に参加しております。

当社商品のBLUEウォーターのウォーターサーバー、明治製紙商品のエコロジーゴールドリボン（トイレットペーパー）にゴールドリボンのマークを記し、売上の一部を協賛させていただいております。



BLUEウォーター



エコロジーゴールドリボン

第5期中間配当金について

当社は、平成23年11月10日開催の取締役会において、第5期中間配当として1株当たり2円50銭をお支払いすることを決議し、平成23年12月9日より配当金のお支払いを開始させていただきます。

今回の配当金は「その他資本剰余金」を配当原資とするため「資本の払戻し」に該当し、「利益剰余金」を配当原資とする配当とは税金計算上の取扱いが異なります。

本中間報告書に同封しております「第5期中間配当に関するご説明」をご覧いただけますようお願い申し上げます。

なお、弊社ホームページでも配当に関するご説明とFAQを掲載しておりますので、ご案内申し上げます。



<http://www.tt-paper.co.jp/>

会社概要 (平成23年9月30日現在)

商号	特種東海製紙株式会社
英文名	Tokushu Tokai Paper Co., Ltd.
事業内容	紙パルプの製造・加工・販売および子会社の経営管理等
資本金	1,148,520万円
事業年度	4月1日から翌年の3月31日
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (コード: 3708)
設立年月日	平成19年4月2日
本社	東京都中央区八重洲2丁目4番地1号
本店	静岡県島田市向島町4379番地
事業所	三島工場、島田工場、横井工場、岐阜工場、 中部営業所、中部営業所静岡事務所、 大阪営業所

役員 (平成23年9月30日現在)

代表取締役社長	三澤 清利
専務取締役	石橋 達彦
専務取締役	三宅 博
専務取締役	梅原 淳
常務取締役	斎藤 純
常務取締役	紅林 昌巳
取締役	関根 常夫
取締役	大島 一宏
取締役	落合 一彦
取締役	松田 裕司
取締役 (社外取締役)	石川 達紘
常任監査役 (常勤監査役)	三谷 充弘
常勤監査役	網野 隆
監査役 (社外監査役)	大倉 喜彦
監査役 (社外監査役)	志賀 こず江

グループ企業 (平成23年9月30日現在)

会社名	主な事業
株式会社リソース東海	製紙原料の仕入・販売、製材品の仕入・販売
株式会社東海フォレスト	土木、造園緑化、山林事業、観光
株式会社レックス	一般廃棄物・産業廃棄物の収集、運搬、加工処理および売買
株式会社テクノサポート	構内作業業務、設備保全業務、重油・産廃運搬業務
大一コンテナ株式会社	段ボールケース・シートの製造販売
静岡ロジスティクス株式会社	運送業、倉庫業、保険代理業、リース業、酒類販売
特種紙商事株式会社	特殊機能紙・保護紙・画材用紙・エレクトロニクス関連用紙・加工品等の販売
特種メーテル株式会社	特殊紙製造、医療用機能性シート、緩衝・保護包装紙の製造・販売
東海加工紙株式会社	ペーパータオルなど各種業務用品の製造、販売、各種産業用資材の加工、販売
明治製紙株式会社	家庭紙 (トイレット、ペーパータオル原紙・中芯原紙) の製造販売

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711
(通話料無料、平日9:00~17:00)
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

（上記は、特別口座に記録された株式に関する各種手続き先ならびに郵送物等の発送と返戻、支払期間経過後の配当金および株式事務に関する一般事項のご照会先となっております。ご登録住所等の変更手続きをされる場合は、お取引口座のある証券会社等へお問い合わせください。）

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

公告方法

当社ホームページ上に掲載
<http://www.tt-paper.co.jp/ir/denshi.html>
ただし、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載

株主優待品のご案内

当社特製カレンダーの送付について

このたび、平成23年9月30日現在の株主名簿で1,000株（1単元）以上を保有する株主様へ、日頃のご厚情への感謝のしるしとして、『特製カレンダー』をお贈りさせていただきます。

このカレンダーには、山岳写真家として世界的に有名な白旗史朗氏が、南アルプスに広がる社有林の中で撮影した山の写真を用いております。また、このカレンダーのすべての用紙は当社グループで製造した紙を使用しております。1年間を通じてご愛用いただければ幸いです。



単元未満株式買取りおよび買増し制度のご案内

単元未満株式（1~999株）につきましては、証券取引所での売買を行うことができませんが、当社では単元未満株式（1~999株）の買取りおよび買増し制度を実施しており、単元未満株式をご売却またはご購入することができます。

単元未満株式買取り制度

株主様がご所有する単元未満株式を株主様のご請求により、当社が買い取らせていただく制度です。

単元未満株式買増し制度

株主様がご所有する単元未満株式とあわせて1単元（1,000株）となるよう不足分の単元未満株式の売渡しを当社にご請求いただく制度です。

お手続きについて

買取り請求（ご売却）、買増し請求（ご購入）に関するご相談、お問い合わせは、お取引の証券会社または左記の当社株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部）までお申し出ください。



表紙：三伏峠から見た塩見岳
撮影：白旗史朗
用紙：ミセスB-F
スーパーホワイト